

## 井上明夫新聞～日田市議会だより～



新しい年が開け平成25年となりました。

昨年、日田市では九州北部豪雨にともなう大災害が発生し、今なお被災地には多くの傷跡が残されています。

被災された皆様方には改めてお見舞い申し上げますとともに今年が良い年となることをお祈りします。

災害復旧についてはこれから本格化する予定で、県の河川等の関係は今年の梅雨前までの終了を目指しており、市の管轄の河川や農地もできるだけ早期の復旧を目指しています。今後、事業のスムーズな遂行がはかれるように議会としても努力していきます！！

### 12月議会の結果

12月議会は財産処分議案（鯛生金山の黄金の鯛の処分）や一般会計補正予算案など16の議案と「市町村国保への国庫負担の抜本的増額を求める意見書」など4つの意見書を可決して閉会しました。

## 農地及び農業用施設の災害復旧補助金を増額!!

農地や農業用施設（水路など）の災害で国の補助対象とならない小規模な金額（40万円以下）の災害に対して日田市が単独で補助している「市単耕地小災害事業補助金」について、補助率を20%上乗せする案も可決しました。

本来の補助率は農地の被害に対して補助率50%（受益者負担50%）、農業用施設（水路など）に対して補助率65%（受益者負担35%）ですが、今回の豪雨災害に関しては補助率を20%上乗せして農地70%（受益者負担30%）と農業用施設85%（受益者負担15%）とすることに決まりました。この補助金上乗せによる市の負担は3510万円程度です。

今回の豪雨災害に関して、すでにこの制度を利用した人でも、さかのぼって新しい補助率が適用されます。

この制度を利用する人は多いので、補助率の上乗せに関しては日田市議会としても9月議会で執行部に対して要望していました。

今回の豪雨による災害のせいで、農業の継続に支障を及ぼす恐れのあるケースもあるので、このような制度を充実させることは大事なことです。

## 「豪雨災害義援金」の第2回配分が決定！！

昨年7月の豪雨災害に対して各地から寄せられた「災害義援金」1億7千万円のうち、1回目の配分の残り約1億円が第2回として配分されました。

配分先は1回目は被災した住宅のみでしたが、今回は店舗・事務所や工場等も対象となりました。

この結果、2回合わせた配分額は住宅が「全壊60万円・半壊30万円・床上浸水15万円」となり、店舗・事務所や工場等への配分額は「全壊20万円・半壊及び床上浸水10万円」となりました。

また、防災用品の購入のため市内の全163自治会にそれぞれ10万円を配分しています。

義援金をくださった多くの皆様に心より感謝します。

## 小中一貫校「大明小・中学校」、開校へ向け着々と



日田市で最初の小中一貫校として、今年4月にスタートする予定の、大明小学校・大明中学校の新校舎が着々と完成していきます。

新校舎は木造2階建て一部RC造3階建てで延べ床面積は4245平方メートル。体育館はRC造+屋根木造で床面積1248平方メートルです。

屋内はふんだんにスギなどの木材が使用され、素晴らしい雰囲気を満たされています。私は昭和40年代に母校の静修小学校と大明中学校に在学中に2校とも校舎が新築されるという経験をしたので、当時のわくわくした気持ちを思い出しました。

中学生は昨年12月15～16日に引っ越しし、その後新校舎での授業が始っています。これから先、この素晴らしい木造校舎でたくさんの思い出を作って、大きく育ってほしいと思います！！

現在手狭に見えるグラウンドは、農地法の関係で25年度に拡張されますが、十分な広さになることを期待しています。

☆☆

★ホームページ <http://www4.ocn.ne.jp/~tekisui/akio.htm>

★ブログ(パソコン) <http://plaza.rakuten.co.jp/aiforest/> 携帯からも→

♪上記サイトは「井上明夫」で検索することもできます♪

